

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	社会「幕府の政治と人々の暮らし」他
学年	三条市立大崎学園 前期課程 6年1組・2組・3組（令和2年度）
目標	歴史上の登場人物や出来事などを、クイズの作成を通して、より深く学ぶ。 ※『小学校プログラミング教育指導書』（2）〔第6学年〕社会 の追試
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	スクラッチ
環境	前期課程パソコン室 一人一台の端末
都道府県	新潟県
実施校	三条市立大崎学園
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>【学習活動の概要】※推奨時間2時間であったが、1時間で実施。</p> <p>①教師が作成した「かけ算」のプログラムを提示する。</p> <p>②「聞いて待つ」「もし～でなければ～」「答え＝●●」を使用し、社会科クイズを作成することを伝える。</p> <p>③児童はクイズを作成し、友達と問題を出し合う。</p> <p>④ふりかえりを書かせる。</p> <p>【児童の様子（ふりかえり）より抜粋】※ ◎と▲に分けて記述させた。</p> <p>◎このような社会の進め方をすることにより、パソコンに触る時間もできたし、社会としての勉強にもなるので、いいと思います。</p> <p>◎プログラミングを使った歴史の学習のいいところは、クイズ形式で楽しめるし、他の授業でも活用できることです。そして、パソコンの学習にもなると思います。</p> <p>◎プログラミングも覚えられ、歴史も覚えられて一石二鳥。楽しんでやれるし、将来にもつながり、ハッピーです。</p> <p>◎歴史だけでなく、いろんなときに使えていいです。</p> <p>◎プログラミングをすることで、パソコンに触れる時間が増えるし、社会としての勉強にもなるので、良いと思います。普通に勉強するより、集中力があがるので、勉強が苦手な人でもやりやすいと思います。</p> <p>▲分からなくなると、ごちゃごちゃになってしまいます。プログラミングが得意でない人が追い付けなくなると思います。</p> <p>▲プログラミングをしながら社会の勉強をしたりすると、プログラミングが得意ではない人がクイズなどを考えるのに、時間がかかり、勉強内容の差がつくと思います。</p> <p>▲バグったりしたら、その時間が無駄になり、授業としてなりたないんじゃないかなと思います。</p> <p>▲自分はパソコンが苦手だから操作が難しい。やりかたは知っている人がいないとやりにくい。</p> <p>▲二時間はほしい。苦手な人は難しいから、何時間か必要な気がする。</p> <p>▲操作がわからないと大変かもしれないです。初めてやる人には、時間がかかってしまい、大変かもです。</p>
成果と課題	<p>成果：楽しんで学習していた。他教科の用語を問題として出題する児童も見られた。</p> <p>課題：プログラムを組むことに躓くと、本時のねらいが達成できない。</p>

